

ドーハの砂嵐

ドーハ日本人学校
佐伯 征彦
平成 29 年 1 月 5 日 (木)

みなさんお久しぶりです。ドーハ日本人学校の佐伯です。ドーハに赴任してから 1 年半以上が経ち、こちらの生活にも随分と慣れてきました。

これまでいくつかの学校行事をお伝えしてきましたが、まだまだ伝えきれていないものもありますので、それを紹介していきたいと思います。

ドーハ日本人学校公開授業研究会

今年度 10 月にドーハ日本人学校では公開授業研究会を行いました。これは、日本の問題解決学習をカタールが学ぶ取り組みの一つとして、2 年前から行われてます。今年度は私が授業公開を行い、たくさんのカタールの先生方に授業を見ていただきました。また、日本からも、文部科学省の長尾視学官や酒井専門官、また東京学芸大学の藤井教授などたくさんの方にも参加していただき、研究を深めることができました。



カタールの先生がたくさん！！

さすがに緊張しました…



たくさんの質問やご指摘をいただき、とても参考になりました。この学びを今後に生かしていきたいと思います。

ドーハ日本人学校の修学旅行

ドーハ日本人学校では 2 年に 1 度、5 年生以上の児童・生徒で海外に修学旅行に行きます。今年度はオマーンに行きました。同じ中東でもカタールとは違った文化が築かれています。また、今回は、オマーン日本人補習校との交流もありました。

日本の学校で歴史等を学ぶのと同じように、異文化を学んだり、体験したりすることで、国際人としての自覚を深めています。



中東の建物ナハルフォート



現地校との交流会の様子



深さ 20 m 以上の大穴で泳ぎました。

佐伯発案 “水泳オリンピック”

中東は暑いというイメージがあると思います。暑いといえば水、水といえば水泳ですよね。ドーハ日本人学校では5月から11月まで週に1回水泳の時間があります。

みなさん、水泳といえば外でするものと思われるかもしれませんが、ドーハ日本人学校では室内のプールで練習をしています。その理由は、簡単です。外では暑すぎて活動できないからです。

週に1度水泳の練習をしている子どもたちですが、その練習の成果を発揮する場として昨年度発案したのが水泳オリンピックです。



学年をまたいでの勝負！！



異学年交流を目指したおんぶ走



1年生から中学生までの力を合わせて全員バタ足リレー



有志を募り，教員や保護者も出場し大会を盛り上げました。



体育の時間の表現活動を生かした中学生によるシンクロ演技

子どもたちが週に1度練習しているこのプールは国際大会も行われるような立派なプールです。今年も国際大会が行われ、リオ・オリンピック金メダリストの金藤選手をはじめ、日本代表の選手がドーハを訪れました。その後、日本人学校へも足を運んでいただき、子どもたちと交流することもできました。



メダリストの方々にお話を聞いたり，質問したりすることができました。



水泳が上手になるコツを教えてもらうこともできました。



一緒に遊んで仲良くなりました。